

平成28年6月30日

第4回スポーツ振興賞の発表

～SPORTEC2016 展示会場（東京ビッグサイト）で授賞式を開催～

公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会（東京都港区 会長 斎藤敏一）と一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構 [JSTA]（東京都港区 会長 原田宗彦）は、スポーツ振興賞選考委員会の審査を踏まえ、スポーツを通じて健康づくりをし、ツーリズムや産業振興、地域振興（まちづくり）に大きく貢献した団体を顕彰するとして、第4回スポーツ振興賞の各賞を発表します。

応募総数50件の作品の中から最も優れた作品に「スポーツ振興大賞」及び「スポーツ振興賞」としてスポーツ庁長官賞、観光庁長官賞、経済産業省商務情報政策局長賞、日本商工会議所奨励賞、日本スポーツツーリズム推進機構会長賞、スポーツ健康産業団体連合会会長賞の6点を選定しました。授賞式は、来る8月2日（火）にSPORTEC2016 展示会（東京ビッグサイト／東京都江東区）の会場で行います。

1. スポーツ振興賞選考委員会で慎重、厳正に審査した結果、以下の作品を授賞作品として決定した。

★スポーツ振興大賞

作品名：自転車を活用した地域活性化の取組

応募者：NPO 法人ツール・ド・おきなわ協会（沖縄県名護市）

★スポーツ振興賞

○スポーツ庁 長官賞

作品名：ようこそ、利賀のおもてなしへ ～TOGA 天空トレイルラン～

応募者：TOGA 天空トレイル大会実行委員会（富山県南砺市利賀村）

○観光庁 長官賞

作品名：「マラソン」と「フェスティバル」の同時開催によるスポーツ振興と地域振興の両立

応募者：一般社団法人東北風土マラソン&フェスティバル（宮城県登米市）

○経済産業省 商務情報政策局長賞

作品名：第4回東尋坊愛のマラニック

応募者：東尋坊愛のマラニック実行委員会（福井県坂井市）

○日本商工会議所 奨励賞

作品名：環境スポーツイベント「SEA TO SUMMIT」

応募者：株式会社モンベル（大阪府大阪市）

○一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構 会長賞

作品名：ひとづくり まちづくり スポーツを活かした地域振興 伊勢志摩・里海トライアスロン

応募者：一般社団法人志摩スポーツコミッション（三重県志摩市阿児町）

○公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会 会長賞

作品名：北海道バーバリアンズ「夢は想えば必ず叶う」

応募者：NPO 法人北海道バーバリアンズラグビーアンドスポーツクラブ（北海道札幌市）

2. 選考委員の受賞作品に対する意見は次のとおり。

○自転車を活用した地域活性化の取組

「NPO 法人ツール・ド・おきなわ協会(沖縄県名護市)」

・沖縄県北部やんばる路の公道を封鎖してのUCI公認レースと市民レースの甲子園と位置づけられるツール・ド・おきなわ大会である。28年も継続した、サイクルスポーツの草分け的存在であり、その持続性は素晴らしい。県内の中核都市から離島までを含む12市町村内をコースとして設定しており、県北の振興及び活性化を促進している優良事例である。海外からの参加者も増加傾向にあるなど、インバウンドを意識した事業となっており、単にスポーツとしてのみならず、地域活性化の重要な事業となっている。

○ようこそ、利賀のおもてなしへ ～TOGA 天空トレイルラン～

「TOGA 天空トレイル大会実行委員会(富山県南砺市利賀村)」

・廃止されたスキー場など地域資源を有効活用した取組みである。人口減少、高齢化の進む地域で、若者を含む交流人口の拡大に寄与し、地元のお年寄りも喜んで参画できる仕組みを作っている。ネパールやギリシャとも連携した天空の国際都市・利賀村の新たな試みとして評価される。大会の翌日にはオプションツアーを開催するなど、今後も観光振興にも寄与することが期待される。大会運営に創意工夫が見られ、地域資源の活用、課題への取り組みなど、継続して取り組んでほしい事業であり、今後の一層の発展を期待したい。

○「マラソン」と「フェスティバル」の同時開催によるスポーツ振興と地域振興の両立

「一般社団法人東北風土マラソン&フェスティバル(宮城県登米市)」

・マラソンをしながら10箇所のエイドステーションで提供される20種類以上の東北各地の名産品を食しながら、「風土」と「フード」を楽しむフェスティバルで、食とスポーツを組み合わせたユニークなスポーツツーリズムである。スポーツと観光と地域振興を見事に組み合わせ、国内外からの参加を得ている素晴らしい事業。特に、公的助成金に頼らず、最初から事業性、継続性を踏まえた綿密な計画に基づき運営されている点が優れており、ますますの発展が期待される。地域資源を最大限に活用し、県内外から多くの観光客等呼び込んでいる優良事例である。

○第4回東尋坊愛のマラニック

「東尋坊愛のマラニック実行委員会(福井県坂井市)」

・暴れ僧(東尋坊)と綾姫のラブストーリー、という物語が良く、スポーツツーリズムにもストーリーが必要であることを示した好例である。“東尋坊”は自殺の名所というイメージが付いているが、それを払拭するために「東尋坊と綾姫」の愛の聖地としてスタート時に“愛してるよ!”と叫ぶことも斬新。まちをあげての、市民の自主的参画による、味わいのあるマラニック(マラソン+ピクニック)で、ツーリズムまで広がりを見せている。地元の食品、伝統食などをふんだんに供し、地元のアイディアも活かされた魅力的な事業で、通過型の観光地の課題を解決する取組みである。

○環境スポーツイベント「SEA TO SUMMIT」

「株式会社モンベル(大阪府大阪市)」

・海、川、山と3つのステージを使った取組みの大きなイベントである。高低差のある活動が面白い。ケネディ大使の参加やセーラム市長の視察など国際的な活動にもなっている。スポー

ツアクティビティーを通じて「環境」を考えるという視点が新しく、大会前日の環境シンポジウムも評価できる。スポーツ、健康、環境、地域づくりなど、幅広いテーマを取り入れた非常に有意義な取り組みであり、今後のさらなる展開が期待される。

○ひとづくり まちづくり スポーツを活かした地域振興 伊勢志摩・里海トライアスロン

「一般社団法人志摩スポーツコミッション(三重県志摩市阿児町)」

・トライアスロン競技として広く認知されており、毎年、毎回の工夫、改善の成果が表れている。市民の声も吸い上げ、商店街のコースを設定するなど、地域の多様な人々の参画を得ている素晴らしい大会で、スポーツコミッションの役割が目立つ成功例である。国立公園という絶好の地形を活用し、かつ地域コミュニティーを巻き込んでスポーツ観光都市の実現を図る試みとして大いに期待したい。今年度については伊勢志摩サミットが行われるなど注目度が上がった地域であり、スポーツツーリズムにも注目が集まることが期待される。

○北海道バーバリアンズ「夢は想えば必ず叶う」

「NPO 法人北海道バーバリアンズラグビーアンドスポーツクラブ(北海道札幌市)」

・40年の非常に長い歴史をもつ地域ラグビーチームの取り組みであり、7人制ラグビーや2019年ラグビーW杯など発展も見込まれる。ラグビーを軸にして、活動内容の幅も広がってきており、新たな地域連携・活性化が注目される。地域との密着度もよい。クレジットカードや自動販売機などの持続的運営に向けた積極的な取り組みは高く評価したい。さまざまな取組で地域を盛り上げており、今後の活動に期待したい。

3. 受賞者の作品概要 「別 紙」

4. 問い合わせ先

- ・公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会 事務局 (担当：板垣)

〒106-0032 東京都港区六本木 6-2-33 六本木ヒルズノースタワーアネックス 3F

TEL:03-6434-9510 FAX:03-6434-9511

E-mail: jdy06327@nifty.ne.jp

- ・一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構 事務局 (担当：宮本)

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-2-5 共同通信会館 B1F

TEL:03-6441-2045 FAX:6441-2046

E-mail: info@sporttourism.or.jp

| ☆スポーツ振興大賞☆ | |
|---|-----------------------------|
| 作品名 | 自転車を活用した地域活性化の取組 |
| 応募者 | NPO 法人ツール・ド・おきなわ協会 (沖縄県名護市) |
| <p>作品の概要</p> <p>「NPO法人ツール・ド・おきなわ協会の目的は大会を通して自転車競技の発展と普及推進及び、サイクルスポーツの普及によりそのフィールドである沖縄県の地域振興に寄与することである。</p> <p>今年で第 28 回目を迎え参加者も増加傾向にあり、特に海外からの参加者が近年著しく増加し、インバウンドにも一躍貢献しているといえる。自転車を活用することでの地域活性化と人材育成を視野に入れ、「サイクル・ツーリズム」の構築に力を注いでいる。具体的には市町村観光協会や NPO 法人(ツーリズム関連)と連携して、今後自走していけるような体制作りをサポート。民泊の際のアクティビティとしての活用や地元ガイドを育成していくなど、地域活性にも波及できるような仕組みづくりを提案中。モデルケースとして既に数か所は実証済みで今後の活用が期待される。</p> <p>その他、子供向けの「自転車安全教室」や、道路清掃を行いながらの「クリーンサイクリング」など、地域と連携して自転車活用の可能性を模索しながら、更なる発展を目指すものとする。</p> | |

| ☆スポーツ振興賞 (6 作品) | |
|--------------------------------------|--|
| ス ポ ー ツ 庁 長 官 賞 | <p>作品名</p> <p>ようこそ、利賀のおもてなしへ ～TOGA 天空トレイルラン～</p> <p>応募者</p> <p>TOGA 天空トレイル大会実行委員会 (富山県南砺市利賀村)</p> |
| | <p>作品の概要</p> <p>地域にある自然を資源に活用できるスポーツと観光を組み合わせた誘客活動を推進、スポーツツーリズムにおける観光プランディングを形成したいと考え、2014 年に第 1 回 TOGA 天空トレイルを開催した。</p> <p>南砺市利賀村の強みは「おもてなしの心」である。便利な都市部に住む人たちが恋しがれる田舎風情や人のもてなし、ぬくもりが元来あります。これを活かし「参加型の楽しめるイベント」を実現し、住民の温かさを求めにやってくる真のリピーターづくりをスポーツから通じて促進している。</p> <p>レース参加者と地元住民との交流会やレース翌日のオプションツアーを開催し、利賀の特産である岩魚・利賀そばや旬の山菜を使ったメニューを提供して利賀を心ゆくまで味わうことができる。</p> <p>当日の宿泊における経済効果はもちろんのこと、第 1 回大会以降、中京方面からコースをトレッキングとして使用するツアーなども実施され年間を通して身近な森林の観光資源化に今後、期待が持てる。</p> |
| 観 光 庁 長 官 賞 | <p>作品名</p> <p>「マラソン」と「フェスティバル」の同時開催によるスポーツ振興と地域振興の両立</p> <p>応募者</p> <p>一般社団法人東北風土マラソン&フェスティバル (宮城県登米市)</p> |
| | <p>作品の概要</p> <p>東北風土マラソン&フェスティバルは 2014 年より毎年 4 月後半の土日 2 日間をかけて宮城県登米市にて開催しているイベント。「ファンラン」で世界的に有名なフランスのメドックマラソンと世界で唯一提携しているマラソン大会である。春の東北の美しい風景の中、コース上 10 箇所のエイドステーションで提供される 20 種類以上の東北各地の名産品を一口ずつ食しながら、「風土」と「Food (フード)」を楽しむユニークな大会である。参加ランナーは 2014 年 1,300 人、2015 年 3,000 人、2016 年 4,300 人と、毎年順調に増加している。</p> <p>今後もこの成長を続け、2020 年のオリンピックイヤーまでにはランナー 10,000 人を超える大会になるべく、質と量の両面で改善を続けていく予定。「マラソン」と「フェスティバル」同時開催でスポーツ振興と地域経済振興を両立させる仕組みを東北の地域にも展開しながら、東北地方ひいては日本全体の地域活性化のモデルとなることも目指す。</p> |

| | | |
|------------------------|---|---|
| 経済産業省 商務情報政策局長賞 | 作品名 応募者 | 第4回東尋坊愛のマラニック 東尋坊愛のマラニック実行委員会（福井県坂井市） |
| | <p>作品の概要</p> <p>東尋坊のイメージアップ作戦の一つとして、2012年から東尋坊と綾姫の恋物語を広めるために東尋坊愛のマラニックを開催する。東尋坊を5:00にスタートし、東尋坊生誕地平泉寺を折り返し、東尋坊へ戻ってくる103kmの部と、平泉寺を9:00にスタートし東尋坊にゴールする52kmの部がある。いずれもゴール閉門は20:00。愛のマラニックはとことん愛に拘る大会だ。</p> <p>マラニックはスタート時間が早いいため、数泊するランナーが殆どである。しかも日本全国から福井へ来て、走って観光する。さらに彼らが福井の良さをPRしてくれて、「東尋坊愛のマラニックはいいわ。来年は一緒に走ろうよ」と仲間を増やしてくれる。上質のマラニックを提供すれば必ずリピーターが増えて福井へ旅行で訪れる人も多くなる。東尋坊愛のマラニックはデスティネーションマラソンであると言える。</p> <p>マラニックがきっかけになり毎年福井へ家族旅行するようになったランナー、ランナーと民泊先の家族との交流、エイドで提供した郷土料理を注文するランナー、日本全国から福井を訪れるランナーが福井を大好きな人を増やしていきたい。そして、福井の認知度を高め地域振興に貢献していきたいと考えている。</p> | |
| 日本商工会議所 奨励賞 | 作品名 応募者 | 環境スポーツイベント「SEA TO SUMMIT」 株式会社モンベル（大阪府大阪市） |
| | <p>作品の概要</p> <p>スポーツ好きの人が楽しめるだけでなく、自然とふれあい、環境について考え、自分たちを取り巻く自然環境を再認識するための「環境スポーツイベント」を2009年より開催した。</p> <p>昨年までの大会回数は28回にのぼり、参加人数も4,000名を超えている。2010年には韓国より30名、2015年の皆生・大山大会には、アウトドアスポーツ好きで知られているアメリカのケネディ駐日大使が家族と共に参加された。2017年にアメリカのオレゴン州のセーラム市で開催したいということで、セーラム市長が視察に訪れたり日本の自然の魅力を世界に発信しつつ、「SEA TO SUMMIT」が世界へ広がっていると言える。</p> <p>人力のアウトドアスポーツを生かしたスローでエコな旅は地域の自然や文化を肌で感じるのに最適である。旅行者と地域との関係を親密なものにし、リピーターの獲得や口コミ効果によるさらなる観光振興も期待できる。</p> | |
| 日本スポーツツーリズム推進機構 会長賞 | 作品名 応募者 | ひとつくり まちづくり スポーツを活かした地域振興 伊勢志摩・里海トライアスロン 一般社団法人志摩スポーツコミッション（三重県志摩市阿児町） |
| | <p>作品の概要</p> <p>伊勢志摩地域は、伊勢神宮があり観光地として発展を遂げてきた。御食国として、美味しいものがたくさんとれる土地でもある。志摩市は、4月に「スポーツ観光都市宣言」を発表し、スポーツと観光が融合したスポーツツーリズムで、全市民が一丸となって推進し、観光のまちづくりを実現すべく、取り組みの強化が進んでいる。「伊勢志摩・里海トライアスロン大会」は、地元自治会、住民、小・中学生にご協力をいただき、地元住民が一つになって進めていく事業である。</p> <p>本大会は、健康増進と青少年の健全育成、並びに伊勢志摩地域の活性化を目的としたトライアスロン競技大会。平成25年に発足し、これまで3回開催。スイムは、真珠養殖発祥の地である英真湾に面した「大矢浜海水浴場」を泳ぐ1500m、バイクはアップダウンとコーナーが連続する変化に富んだ40km、そして情緒溢れるピン玉ロードを走る10kmのラン、合計51.5kmと、トライアスロンリレー部門（3名1組）、で開催している。参加者は592名、ボランティア250名。2021年の三重国体でのトライアスロン競技の誘致や、東京オリンピック、三重国体での合宿地としてトライアスロンの普及を目的としている。今後は、年間を通じて合宿地としても発展させていくことで、全国・世界へと志摩市を広めていくことができる。</p> | |

| | | |
|--|-----|--|
| スポーツ健康産業団体連合会 会長賞 | 作品名 | 北海道バーバリアンズ「夢は想えば必ず叶う」 |
| | 応募者 | NPO 法人北海道バーバリアンズラグビーアンドスポーツクラブ（北海道札幌市） |
| <p>作品の概要</p> <p>1975年より「北海道におけるスポーツの普及と振興」を目的に、地域に密着した活動を行っている。「グラウンドを軸にした地域との連携」、「スポーツの普及・育成・強化」、「交流人口の拡大」という3つの観点からクラブ運営を行う。</p> <p>リオ五輪出場を決めた7人制男子（ラグビー）日本代表のロテ・テウキリは昨年度までバーバリアンズの所属選手である。道内外からスポーツ合宿を誘致し、競技力の向上を図るだけでなく、近隣温泉街の活性化や地域住民との交流も進めている。合宿以外にも2012年から全国的な大会を企画・運営しており、2015年の第4回大会には全国から男子18チーム・女子9チームの計27チームが国内外から参加。7人制日本代表の強化合宿、大学・高校の合宿、大会などを合わせると年間で1,000名以上の方がグラウンドを訪れている。</p> <p>今後は“定山溪スポーツパークタウン”の実現に向けた取り組みを進めていきます。具体的には定山溪スノーファンタジーの常設、「雪遊びゾーン」や雪まつりを企画するなど温泉街と連携し、観光客の増加を図ります。クラブ理念にあるように「すべてに対して正直たれ」のクラブ倫理を持ち、「楽しむ」ことを忘れず、「夢を追い続ける」エネルギーを持ち、地域に密着した「クラブライフの創造」を目指す。</p> | | |